

年	組	名前
---	---	----

宇佐市の宇佐からあげを題材にした映画「カラアゲ☆USA（ユーエスエー）」の製作決定記者会見があり、概要が発表されました。

①なぜ「アメリカ帰り」の主人公でしょう。分かるかな？

.....

.....

.....

.....

②宇佐からあげの特徴を調べてみよう。

.....

.....

.....

.....

映画「カラアゲ☆USA」の製作決定記者会見で記念撮影をする瀬木直貴監督（左から2人目）ら=23日、宇佐市の宇佐ホテルリバーサイド



「カラアゲ☆USA」製作決定会見

宇佐市の宇佐からあげを題材にした劇場用長編映画「カラアゲ☆USA（ユーエスエー）」の製作決定記者会見が23日、市内のホテルであり、概要が発表された。今後、市民からも出演者を募り、市内を中心に撮影する。2014年夏に、県内での先行上映を予定している。

宇佐からあげ
映画デビュー

映画は全国唯一のからあげの町、宇佐市が舞台。アメリカ帰りだからあげ嫌いの主人公（女性）が、実家の空揚げ専門店を再興すべく悪戦苦闘する」という物語。8月24、25の両日に公開オーディションを開催して出演者を決定し、10月に撮影を開始する。製作は、宇佐フィルムコミッションの誘致で実現した。久留米市の屋台街が舞台となった「ラーメン侍」など、地域を題材にした作品に定評の

熱い誘致実る 全国に魅力発信

ある瀬木直貴氏が監督。記者会見では永修治市長が「映画で宇佐の歴史、文化を全国に発信したい」とあいさつ。瀬木監督は「市民の熱意が製作の決め手となった。宇佐の魅力な景色や人情を盛り込み、全国の人が感動する作品にしたい」と意気込みを語った。

製作費は5千万円前後を予定。一口千円の製作協力券購入も呼び掛けている。

会見に先立ち、映画の製作上推進委員会（委員長・是永市長）が発足。会員は市内の行政機関や民間団体の代表ら28人で構成。映画の周知や製作協力券の販売協力などに努めることを決めた。

問い合わせは、同委員会事務局の市観光まちづくり課（☎0978・321111）。

(2013年7月24日朝刊11面)

③自分たちの地域で映画を作るとしたら、何を題材に、こういったストーリーが面白そうですか。考えて、発表してみよう。

.....

.....

.....

.....